

# 地域産業担い手人材育成事業

(予算額24,554千円)

別紙 1

(産業振興計画に位置付けられている「人材の育成・確保」を進めていきます)

## 1 事業の概要

### ★事業目的

1. 生徒の企業実習  
企業等での就業体験により、勤労観・職業観の育成に併せて、地域産業のニーズに対応できる担い手を育成する。
2. 企業技術者による技術指導  
産業界の優れた技能者を学校に招いた技術の伝承を契機として、産業教育の充実・向上を図る。
3. 産業教育担当教員等企業研修  
教職員の資質向上と指導力の充実、企業と連携できる教職員の養成
4. 企業との共同研究  
課題研究や部活動の一環として、生徒や教員の実践的なものづくり技術の向上と、自発的な研究活動を奨励し、産業教育を向上させる。

### ★ 4つの事業内容

事業内容	生徒の企業実習(デュアルシステム)事業	企業技術者等による技術指導事業	産業教育担当教員の企業研修事業	企業と学校との共同研究事業
事業内容	生徒の企業実習を通して、技術力の深化・向上を図り、地元企業の魅力を再発見してもらう。	高度な技術を有する技術者を学校に招き、生徒への技術指導を行うなかで、技術者の心得や生徒の学習意欲の向上を図る。	企業研修を通して、高度な知識・技術を習得するだけでなく、総合的な指導力や教員の社会参加意識を高め、県内企業と連携がでる教員を養成する。	生徒と教員が企業との共同研究に参加し、実践的な技術力の向上を図る。
対象者	産業系専門科目を履修する生徒 4日以上又は30時間以上 (単位認定には35時間以上必要) 3年生が実施する場合は、8月末までに終了すること。	産業系専門科目を履修する生徒 1学科10時間以内を原則とする。 (1日4時間までとする)	産業教育担当教員及び実習助手 原則として、 長期休業期間の1週間程度とする。	産業系専門科目を履修する生徒
実施期間				事業の趣旨が生かせる研究内容とし、企業と協働のうえ決定すること。

## 2 実績

### ★H20～H22(H22は計画)

事業内容	対象校	H20実績		H21実績		H22計画	
		実施校	生徒数	実施校	生徒数	実施校	生徒数
①生徒の企業実習 デュアルシステム事業	延べ企業数	実施校	10	23	22		
		生徒数	5	10	12		
		延べ企業数	49	133	184		
②企業技術者による 技術指導事業	延べ企業数	実施校	28	74	94		
		生徒数	6	8	9		
		延べ企業数	279	335	416		
③産業教育担当教員の企業研修事業	延べ企業数	実施校	15	19	22		
		教員	3	3	3		
		延べ企業数	7	3	3		
④企業と学校との共同研究事業	延べ企業数	実施校	5	6	5		
		生徒数	6	6	5		
		延べ企業数	88	78	62		
合計	延べ企業数	実施校	8	9	7		
		生徒数	9	15	15		
		教員	416	546	662		
合計	延べ企業数	実施校	7	3	3		
		生徒数	56	105	126		
		延べ企業数	46	96			

### 3 取組経過

#### ◇課題(H20)

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の理解(人材育成という主旨)を得る</li> <li>・県内企業の業種分類・事業内容等の資料が欲しい</li> <li>・地域での受け入れ可能な企業が少くない</li> <li>・予算費目や実習期間等、もっと利用しやすいしてほしい</li> <li>・窓口の一本化・事務処理の簡素化</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施メニューの工夫</li> <li>・横への広がり</li> <li>・事業効果の検証</li> </ul>



#### ◇対応(H21)

<ul style="list-style-type: none"> <li>①ふるさと雇用再生特別基金を活用した事業(受入企業の情報集約) 企業開拓や、協力企業紹介HP(まなともネット)、認証マーク、高校生の企業実習等に関する事例集作成等</li> <li>②対象校の拡大 10校(H20)⇒23校(H21)</li> <li>③受入企業との意見交換会の開催</li> <li>④生徒アンケートの内容見直し、企業へのアンケートの実施</li> <li>⑤各学校に連絡係(学校窓口)の配置を依頼。事業運営の問題点は個別対応</li> </ul>
--

#### ◇課題(H21)

県内企業の理解	地域産業への理解	地域活性化
<ul style="list-style-type: none"> <li>①連携企業や学校等の横の広がりを</li> <li>②企業情報の充実</li> <li>③学校と企業を繋げる場づくり</li> <li>④事業効果の検証</li> </ul>		



#### ◇対応(H22)

<ul style="list-style-type: none"> <li>①横の広がりを</li> <li>★量の拡大 実施校15校(H21)⇒20校目標(H22)</li> <li>★質の拡大 テーマを設定し事業を通じてPR 「<b>地域を元気に！地域で人材を育てるぞよ！</b>」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の広報徹底 (高等学校⇒県 雇用労働政策課⇒広報広聴課⇒県政記者室⇒県民)</li> <li>・様々な機会を通じて、地域の取組を県内外へPR</li> <li>・地域住民・商工会などとの連携を意図</li> <li>・事例発表会の開催 より現場に近い実習・研究を通じた教育を、広く周知する</li> <li>②協力企業の開拓及び情報の集約</li> <li>③受入企業との意見交換会の継続開催と内容の工夫</li> <li>④事業効果の把握調査の実施</li> </ul>